

5年	科目	技術表現演習	演習	後期	担当	三谷 祐一朗, 鈴木 尚人 MITANI Yuuichiroh SUZUKI Naoto
機械工学科		Practices for Description of Science Contents	必修	1履修単位		
授業の概要						
<p>科学者または技術者として生きていくためには、専門知識やそれを駆使できる創造力だけでなく、熟達した科学技術文章の作成能力と、正確に伝えるプレゼンテーション能力が要求される。この授業では、それらの基礎的な能力を養成する。</p>						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
	○	4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)	実践指針 (プログラム対象科目のみ)			実践指針のレベル (プログラム対象科目のみ)		
授業目標						
<p>科学技術文書： (1)適切なタイトルを付けられる、(2)キーワードを適切に選定できる、(3)文書の構成を組み立てられる、(4)適切な表現を用いて文章が書ける。 プレゼンテーション： (1)発表順や内容を適切に作れる、(2)見やすく理解しやすい資料が作成できる、(3)分かりやすく発表できる。</p>						
授業計画						
第1回	概要	シラバスの説明、moodleの利用方法、技術文書の紹介、技術文書とは何か、演習用技術文書のテーマ・結論の提示(1)				
第2回	技術文書作成(1-1)	第1回の提示事項を元に、キーワード選定・文書構成の作成、タイトル付け、作成文書の自己校正、文書回収。				
第3回	技術文書作成(1-2)	文書返却・共通する修正点の解説、分かりやすい文章とは(短文演習)。				
第4回	技術文書作成(2-1)	キーワードとは、キーワード選定練習、タイトルとは、タイトル選定練習、文書校正練習、テーマ・結論の提示(2)				
第5回	技術文書作成(2-2)	提示(2)を元に、キーワード選定・文書構成の作成、タイトル付け、作成文書の自己校正、文書回収。				
第6回	技術文書作成のまとめ	文書返却・共通する修正点の解説、分かりやすい文章作成のポイント(解説)。				
第7回	確認問題	小テスト(技術文書における不適切な箇所の修正問題)。				
第8回	プレゼンテーション概要	知的なプレゼンテーション技術・プレゼンテーションのコツ、プレゼンテーション例				
第9回	プレゼン作成(1)	プレゼン案(スライド・説明内容)の作成・回収。				
第10回	プレゼン作成(2)	プレゼン案の返却・共通する修正点の解説、プレゼン内容の修正・回収。				
第11回	プレゼン作成(3)	プレゼン資料(パワーポイント)の作成、発表者の選抜。				
第12回	プレゼンテーション	プレゼン(6分/人)、相互評価。				
第13回	プレゼンのまとめ	優れているプレゼンの紹介・解説。				
第14回	技術文書作成(3)	技術文書作成、他者校正(2回)。				
第15回	総括	総合評価、総評、授業アンケート。				
評価方法と基準	科学技術文書50%、プレゼンテーション50%。総合して60点以上で合格とする。 追試験は、技術文書・プレゼン共に60点以上で合格とする。					
教科書等						
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					